

平成28年度施策評価シート(平成27年度実施事業)

作成主管課	環境保全課		
	関係課		
施策名	廃棄物対策	施策コード	4-3-2

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり
	小政策	自然環境にやさしい循環型社会をつくります
現況と課題	<p>ライフスタイルの変化により、ごみ量の増大やごみ質の多様化による廃棄物問題が深刻化し、さらには地球温暖化や環境資源の枯渇化などの問題から、循環型社会の形成に向けた意識はますます高まっています。本市ではこれまで、分別収集の推進、資源物集団回収や3R運動等の推進に加え、市民一人ひとりの環境美化意識を高めるためクリーン作戦などを実施してきており、一般廃棄物処理量については、年々減少傾向にあります。また、本市のごみ処理は、笠間地区はエコフロンティアかさま、友部・岩間地区は隣接する水戸市(内原地区)と構成する笠間・水戸環境組合で進めてきたところですが、各施設の効率的・効果的な処理に向けたごみ処理基本計画の見直しについての検討が急務となっています。さらに、持続可能な社会を構築していくためには、環境に対する負荷を低減させるとともに、限りある資源の有効的利活用が大きな課題となってきます。今後は、市民が将来にわたり健康で暮らし続けるために、市民・事業者・行政が一体となって、より一層ごみ減量化や廃棄物の再資源化を推進するとともに、引き続き不法投棄やポイ捨て対策等を実施し、ごみのない清潔で美しい環境づくりに取り組んでいく必要があります。</p>	
施策目標	市民が将来にわたり健康で暮らし続けるために、循環型社会に対する意識の高揚を図るとともに、ごみの減量化や再資源化を推進し、癒しの環境づくりを進めます。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	0
-------------	---

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
ごみの減量化・リサイクルを実施している市民の割合	市民実感度	90.730	86.310	86.750	85.770	86.890	0.000
	加重平均値	3.537	3.497	3.447	3.440	3.475	0.000
※※※※※※	市民実感度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	加重平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度	96.090	95.780	95.640	95.290	0.000	0.000
	加重平均値	3.730	3.663	3.741	3.758	0.000	0.000

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
1人1日当たりのごみの排出量(生活系)	目標値	g	700	700	700	700	700	700
	実績値	g	738	711	697	700	682	0
	達成度	%	98.45	100.43	100	102.64	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
ごみの再資源化率(リサイクル率)	目標値	%	22.5	23	23.5	24	24.5	0
	実績値	%	22	26.1	25.6	23	21	0
	達成度	%	115.56	111.3	97.87	87.5	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%	0	0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%	0	0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0

数値指標の考え方	指標設定の考え方	循環型社会の構築に向け、ごみの減量化や再資源化を推進するため、数値目標を1人1日あたりのごみの排出量と、ごみの再資源化率を数値指標の項目とした。
	目標値設定の考え方	1人1日あたりのごみの排出量については、茨城県の平成20年度の実績値を市に当てはめて700gを目標値とした。リサイクル率については、8万人口都市の平均値23.3に向けて年々強化を図っていく。

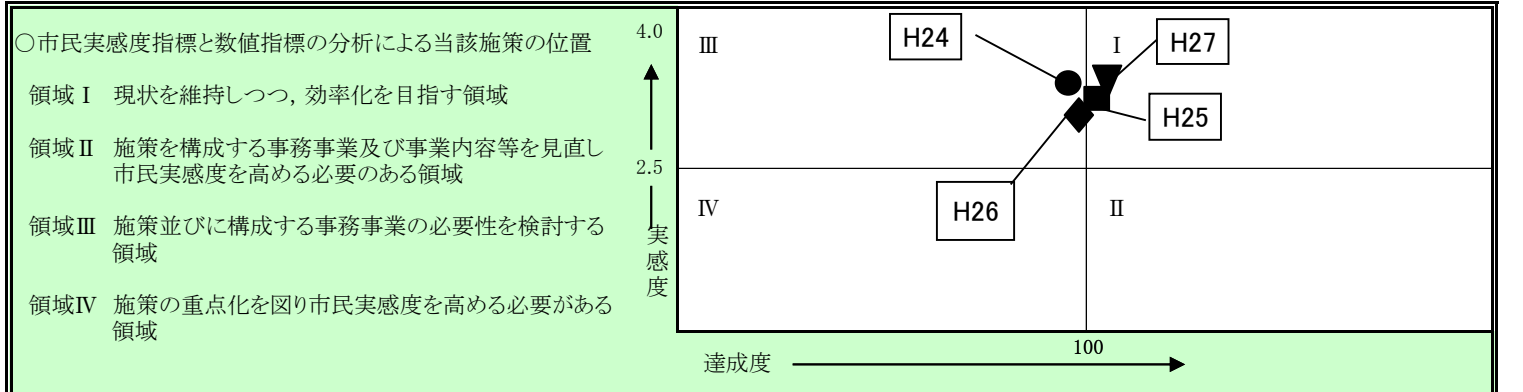
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 ・ごみの減量化・資源化に協力するとともに、分別収集を推進する。 ・ごみの出し方等市民の守るべきルールを徹底する。 ・ポイ捨て・不法投棄箇所の情報提供を行う。
	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 ・ごみ減量化に関する啓発をするとともに、分別収集を徹底し、ゴミの資源化率を向上させて、循環型社会の形成に向けた意識を高めていく。

3 平成27年度の実績

取組状況等	<p>取組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <p>資源物分別回収補助団体数122団体となり、取組み団体が増え、912,360kgの回収があった。不法投棄対策として、市民協力のクリーン作戦を年3回実施し25,510kgの回収をした。また、不法投棄回収作業員雇用し、年間33,200kgを回収した。し尿処理量(浄化槽汚泥を含む)については市全体で23,706klであった。</p>
-------	---

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	<p>指標を分析した結果施策目標は達成されたのか</p> <p>一人1日あたりのごみの排出量は、目標値700gに対して達成できている。</p>
-------	---

構成事務事業の適正性	<p>施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か</p> <p>妥当と思われる。</p>
------------	--

残された課題	<p>平成28年度以降に残る課題、その要因として考えられること。</p> <p>ごみの再資源化率が目標値まで実績値が達成できていないことから、分別の徹底とリサイクル意識の向上に取り組む。</p>
--------	---

5 今後の方向性

取組方針	<p>平成29年度に向けた施策方針</p> <p>ごみの再資源化の取り組みを広報等により市民へ周知する方針を進める。</p>
------	--

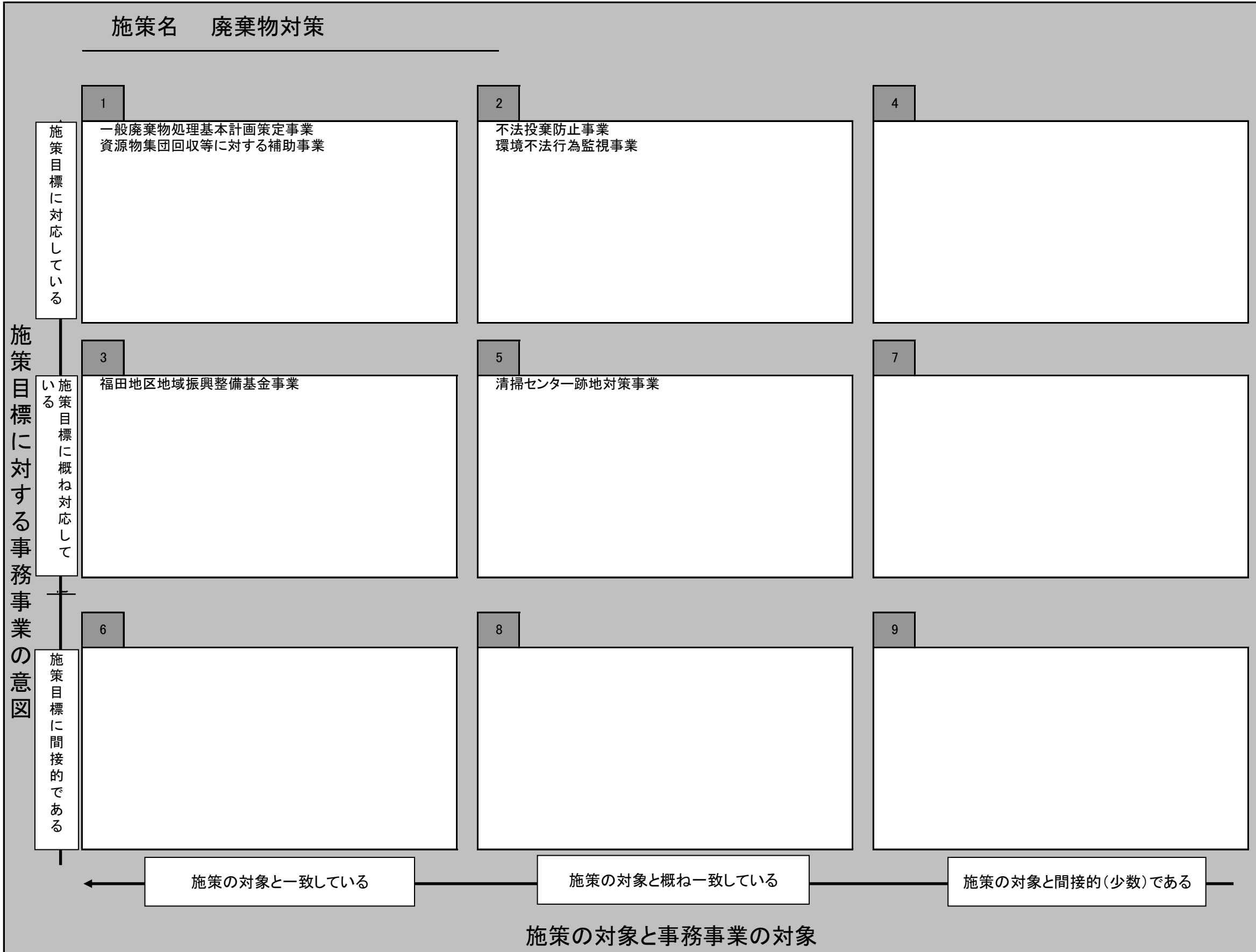
シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策名 02 廃棄物対策

										事業費合計		平成25年度	平成26年度	平成27年度	3カ年計	3カ年平均			
												1,163,146	1,214,492	1,326,822	3,704,460	1,234,820			
No.	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価				
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度							
1	茨城地方広域環境事務組合事業	市民が住み良い生活環境の保全, 及び安心できる公衆衛生の向上のための施設の運営・維持管理に対するの分担金の支出。	101 義務的事業	し尿・浄化槽処理量	kl	11,570	11,209	11,530			166,564	78,592	65,108	01 ごみ処理体制の強化	環境保全課	義務的事業			
2	エコフロンティアかさま対策事業	エコフロンティアかさまの事業運営に伴い、市民生活環境への影響防止並びに施設の維持管理に対する信頼性の確立を図るため、月1回の監視委員会を実施する。また、4者協定に基づく事業を円滑に実施するため、福田地区対策協議会との連携を図る。	101 義務的事業	浄化槽補助世帯割合		74	0	0	市単独		212,644	2,158	2,421	01 ごみ処理体制の強化	環境保全課	義務的事業			
3	筑北環境衛生組合事業	市民が住みよい生活環境の保全, 及び安心できる公衆衛生の向上のための施設の運営・維持管理に対するの分担金の支出	101 義務的事業	し尿浄化槽処理量	kl	12,178	12,325	12,144			0	79,759	84,608	01 ごみ処理体制の強化	環境保全課	義務的事業			
4	分別収集事業	一般家庭から排出される廃棄物の減量化と処理。	101 義務的事業	1日1人あたりのゴミの排出量	g	687	688	681	市単独		767,974	222,185	215,805	02 循環型社会の推進	環境保全課	義務的事業			
5	笠間・水戸環境組合事業	友部・岩間地区の家庭から出る一般廃棄物の収集運搬及び処理。可燃物、不燃物、粗大ごみ等の一般廃棄物は笠間水戸環境組合において処理している。	101 義務的事業	区域内ゴミ処理量	kg	16,593,125	16,400,892	16,158,450			0	318,674	357,730	02 循環型社会の推進	環境保全課	義務的事業			
6	笠間地区塵芥処理事業	笠間地区の家庭から出る一般廃棄物の収集運搬及び処理。可燃物、不燃物、粗大ごみ等の一般廃棄物はエコフロンティアかさまにおいて処理している。	101 義務的事業	区域内ゴミ処理量	kg	8,646,120	9,276,633	9,071,120	市単独		0	278,791	270,496	02 循環型社会の推進	環境保全課	義務的事業			
7	福田地区地域振興整備事業	エコフロンティアかさまの建設に伴い、地元還元として地域振興事業を行う。	102 建設・整備事業	浄化槽補助世帯割合	%	74	76	78	市単独		0	41,249	80,768	01 ごみ処理体制の強化	環境保全課	3			
8	清掃総務事務	ゴミ対策及び環境美化にかかる奨励と普及	103 内部管理事務	クリーン作戦	回	0	0	3	市単独		0	421	242	02 循環型社会の推進	環境保全課	内部事務事業			
9	福田地区地域振興整備基金事業	エコフロンティアかさまの設置に伴い、福田地区の生活環境の保全及び地域振興を図るため、笠間市福田地区地域振興整備基金に積立てをする。	103 内部管理事務	積立金	千円	0	120,403	200,465	市単独		0	120,403	200,465	01 ごみ処理体制の強化	環境保全課	内部事務事業			
10	し尿・浄化槽清掃業務不許可処分取消請求訴訟事務	平成25年10月4日付で水戸地方裁判所に「し尿・浄化槽清掃業務不許可処分取消請求事件」として訴えがおこり、その裁判に対する経費である。	103 内部管理事務			0	0	0	市単独		68	371	1,577	01 ごみ処理体制の強化	環境保全課	内部事務事業			
11	地球温暖化防止等基金事業	ごみの減量化及び地球温暖化防止に資する事業の推進を図る。	103 内部管理事務	積立金	千円	0	41,887	33,275	市単独		0	41,887	33,275	02 循環型社会の推進	環境保全課	内部事務事業			
12	一般廃棄物処理基本計画策定事業	市の将来展望を見据えた「廃棄物処理基本構想」を定め、より効率的・効果的な処理体制の強化を図る。	104 計画策定事務	計画の策定	式	0	0	0			0	0	0	01 ごみ処理体制の強化	環境保全課	1			
13	清掃センター跡地対策事業	大郷戸清掃センター跡地における観測用井戸及び隣接する鍋田池の水質等についてモニタリング調査を実施し、市民の健康を保護するとともに、生活環境の保全に寄与する。	105 維持管理事業	環境基準達成率	%	0	95	97	市単独		0	10,361	1,258	02 循環型社会の推進	環境保全課	5			
14	不法投棄防止事業	事業者及び関係機関と連携し廃棄物の不法投棄を防止し適正な処理を行うことにより公衆衛生の向上と生活環境の保全を図る。	106 政策的事業	不法投棄処理数	件	88	62	88	市単独		10,110	14,864	8,365	03 不法投棄の防止	環境保全課	2			
15	環境不法行為監視事業	不法投棄は、公害苦情の中でも件数が最も多く、年々増加傾向にあり、そのため不法投棄など環境不法行為の監視強化を図る。	106 政策的事業	苦情処理件数	件	0	0	88			0	0	249	03 不法投棄の防止	環境保全課	2			
16	資源物集団回収等補助事業	ごみの減量化と再資源化を図るため、市内の市民団体等が行う資源物分別回収に対し、奨励金を交付する。	106 政策的事業	ごみの再資源化率	%	26	23	21	市単独		5,786	4,777	4,455	02 循環型社会の推進	環境保全課	1			

シート1 施策内事務事業目的直結度評価

施策名 廃棄物対策



- 義務的事業, 内部事務事業
- 茨城地方広域環境事務組合事業
 - エコフロンティア対策事業
 - 筑北環境衛生組合事業
 - 分別収集事業
 - 笠間・水戸環境組合事業
 - 笠間地区塵芥処理事業
 - 清掃総務事務
 - 福田地区地域振興整備基金事業
 - 地球温暖化防止等基金事業

シート2 施策内事務事業貢献度評価

施策名 廃棄物対策

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

非常に高い 1

高い 2 3

中 4 5 6

低い 7 8 9

1 一般廃棄物処理基本計画策定事業 資源物集団回収等に対する補助事業	2 不法投棄防止事業 環境不法行為監視事業	4
3 福田地区地域振興整備事業	5 清掃センター跡地対策事業	7
6	8	10
9	11	12

成果は高い (上位)

成果はやや高い (中位)

成果は普通 (中位)

成果は低い、ほとんど出ていない 若しくは把握できない (下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア

義務的的事业, 内部事務事業

- 茨城地方広域環境事務組合事業
- エコフロンティア対策事業
- 筑北環境衛生組合事業
- 分別収集事業
- 笠間・水戸環境組合事業
- 笠間地区塵芥処理事業
- 清掃総務事務
- 福田地区地域振興整備基金事業
- 地球温暖化防止等基金事業

事務事業の成果基準の説明